

# 平成 29 年度財団法人富山県健康づくり財団事業報告

公益財団法人富山県健康づくり財団は、県からの指定管理者の指定を受け富山県国際健康プラザ、富山県立イタイイタイ病資料館の県施設の管理運営を行なうとともに、富山県健康増進センターにおいて、施設内検診事業と集団検診事業を財団自主事業として一体的に運営している。

平成 29 年度においても、県からの委託事業を実施するとともに、各施設において積極的に事業の実施に取り組み、本県における健康づくり施設の中核団体として、県民サービスの一層の向上と業務の効率化に努めた。

## 第 1 国際健康プラザ事業

国際健康プラザは、県民の健康づくりの中核施設として、県民一人ひとりに適した健康づくり活動を支援するための事業を実施した。

国際健康プラザ施設利用者総数

区 分	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	比較増減(A-B)	
年間営業日数	309 日	309 日	0 日	
総利用者数	250,604 人 ( 811 人 )	262,102 人 ( 848 人 )	△ 11,498 人 ( △ 37 人 )	
内 訳	健康スタジアム	173,435 人 ( 561 人 )	179,636 人 ( 581 人 )	△ 6,201 人 ( △ 20 人 )
	生命科学館	25,983 人 ( 84 人 )	31,235 人 ( 101 人 )	△ 5,252 人 ( △ 17 人 )
	屋外施設	38,480 人 ( 124 人 )	38,580 人 ( 124 人 )	△ 100 人 ( 0 人 )
	その他 (注2)	12,706 人 ( 41 人 )	12,651 人 ( 40 人 )	55 人 ( 1 人 )

注1：( ) は、1日当たりの利用者数

注2：内訳の「その他」は、講演会参加者、施設見学者等の数

### 1 指定管理事業

#### (1) 生命科学館事業

生命科学館は、主に幼稚園、保育所、小学校の校外学習や家族連れに利用された。

##### ア 展示事業

児童や生徒にからだの仕組みや健康づくりの大切さを学習してもらうため、実際に自分で触れて操作してみる、参加体験型の常設展示を行った。

##### (ア) 情報提供事業

季節にちなんだ企画展示（パネル等の展示）を行うとともに、小学生等の関心を引きやすいテーマを設けて公開実験を実施した。

##### a 企画展示

夏の企画展示	筋肉が健康のカギを握る！	7月15日～8月20日
冬の企画展示	冬の安全・安心な入浴方法！	12月16日～1月13日
春の企画展示	大切な子どもの健康！子どものメタボ予防の生活習慣やアレルギー・花粉症について	3月3日～31日

##### b 公開実験

健康・伝統医学・運動などのテーマを設けて、参加型の公開実験を開催した。

年 9 回、参加者数(延) 200 人 (28 年度 9 回、参加者数(延) 212 人 )

(イ) 元気とやま健康情報コーナー

疾病予防、運動、栄養、休養、伝統医学に関する展示を通して健康情報を発信した。

イ ボランティア育成事業

常設展示の解説を担当するボランティアの接遇や知識の向上、情報交換のための研修会を開催した。

(2回開催) 展示ボランティア登録者数 6 人 (28年度登録者数 7人)

ウ 校外学習の支援

保育園、学校等団体の校外活動としての来館者を受け入れ、健康づくりの啓発を実施した。

団体数 116団体 利用者数 25,983人 (28年度 団体数115団体 利用者数31,235人)

エ 親子ふれあい広場の活用

親子ふれあい広場を活用して、生命科学館、じゃぶじゃぶ池を利用する未就学児や保護者を対象に、楽しく遊び健康づくりについて学べる、ふれあいイベントを開催した。

利用者数 4,149 人 (28年度 利用者数 4,155 人)

イベント 年 3 回 参加者数(延) 44 人 (28年度 4回、88人)

(2) 健康スタジアム事業

健康スタジアム(トレーニングゾーン、プール等)において、健康づくりの指導や実践指導を行うとともに、コース事業、講座事業等を実施し、利用者の健康づくりの推進に努めた。また県の施策による障害者及びとやまっ子お祝いパス利用のスタジアム利用料金を免除するとともに、財団独自に障害者の介助者についても免除し障害者が安心して利用できるように配慮した。

利用状況：障害者 23,934 人、介助者 1,355 人、とやまっ子お祝いパス者 697 人

(28年度：障害者 25,074 人、介助者 1,457 人、とやまっ子お祝いパス者 123 人)

ア 啓発普及事業

(ア) 健康医学講演会

広く県民を対象に、日常の健康法等をわかりやすく紹介する健康医学講演会を開催し、健康づくりの啓発普及に努めた。

年 7 回開催 延参加者数 199 人 (28年度 年 7 回開催 延参加者数 163 人)

日 時	講演テーマ	講 師	受講数
6月24日	富山の天気の特徴 ～天気予報を健康管理に活用するポイント～	NHK 富山放送局気象キャスター、 気象予報士 木地 智美氏	41 人
7月19日	体と心にやさしい薬膳を手軽に生活へ取り入れましょう	薬膳コーディネーター 食育実践プランナー 柳下 詩織氏	13 人

8月23日	人は「心の健康」を歴史的にどう考えてきたのか	心理学博士、臨床心理士(うつ心理相談センター) 村田 晃氏	15人
10月14日	自分にあった香りを見つけよう～アロマセラピーの効果について	薬剤師、フィトセラピスト(西尾薬局フローラメディカ) 西尾 茂美氏	35人
12月2日	スポーツウェアの世界～身体のしくみと機能の融合を考えて	株式会社ゴールドウィンテクニカルセンター技術主席 沼田 喜四司氏	21人
2月10日	笑いの効果を試してください! おもいきり笑ってリフレッシュ	社会人落語家(ばららくご) 川中奈丸氏	54人
3月24日	食物アレルギー その予防と治療	富山大学大学院医学薬学研究部 小児発達医学教授 足立 雄一氏	20人

(イ) 健康づくり講座

a P A (プロジェクトアドベンチャー) 講座

日常生活の中ではなかなか体験できない、集団の中での協力関係や信頼関係の大切さを実感してもらう講座を開催した。

(参加者数)

(単位:人)

講座区分		平成29年度(A)		平成28年度(B)		比較増減(A-B)	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
P A講座	半日コース	20	553	32	902	△12	△349
	1日コース	6	125	14	324	△8	△199
	小計	26	678	46	1,226	△20	△548

b 健康講話

健康スタジアムの利用者に限らず一般県民を対象に、「健康講話」を開催し、健康づくり、疾病予防、介護予防等に関する情報の提供に努めた。

(参加者数)

(単位:人)

講座区分		平成29年度(A)		平成28年度(B)		比較増減(A-B)	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
健康講話		5	37	4	47	1	△10

c 母親のための健康づくり講座 (ヘルスアップママ講座)

乳幼児を持つ女性を対象に心身のリフレッシュや産後の体力回復等を目的に健康づくり講座を開催した。

(参加者数)

(単位：人)

講座区分	平成29年度(A)		平成28年度(B)		比較増減(A-B)	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
ヘルスアップママ講座	24	68	24	74	0	△6

d 保養地講座

保養を目的に県内保養施設で1泊2日の講座を実施した。

年1回 8人 (28年度 なし)

e 栄養講座(四季のヘルシークッキング)

四季毎の旬の食材を使い、手軽にできるヘルシーな料理作りの講話と実習・試食を行った。

年4回 36人 (28年度4回、32人)

f 健康づくり講師等の派遣事業

健康プラザの職員(健康運動指導士・保健師・栄養士)が、県内市町・関係団体等の依頼により施設利用時に併せ、健康づくりについて講義・指導を実施し、啓発普及に努めた。

年4回 (28年度4回)

イ 調査研究事業

富山県健康増進施設連絡協議会の開催

県内の運動型健康増進施設等34施設で構成する「富山県健康増進施設連絡協議会」を運営し、各施設間で情報交換を行った。

年1回 参加者数8人 (28年度 参加者数15人)

ウ 情報提供事業

(ア) ホームページやメールマガジンの配信により健康情報や最新のイベントに関する情報を提供した。

(イ) 健康ポケットカード等の配布並びにテレビや新聞、雑誌等のマスメディアを通しての啓発普及を行った。

(ウ) いきいきとやま健康と長寿の祭典や富山県産業安全衛生大会に健康プラザの展示コーナーを出展した。

エ 人材育成事業

(ア) 健康づくり担当者研修会

県厚生センター、市町村等の健康づくり担当者、学校、企業の保健指導者を対象に健康づくり事業の効果的推進役としての資質の向上を図るため開催した。

日時	講演テーマ	講師	受講者
3月9日	香りで健康！ハーブのある暮らしが毎日を元気にします！	ハーブガーデン平田 代表 金丸 晴美氏	9人

(イ) 健康づくり指導者研修会・健康スポーツ医師研修会

県や市町村、学校、企業等の健康・保健指導担当者を対象とした「健康づくり指導者研修会」と県内の地域医療に関わる医師等を対象とした「健康スポーツ医師研修会」を開催した。(この研修会は、健康運動指導士や健康運動実践指導者の資格更新のための単位認定講座と、スポーツ医の資格更新に必要な地域医師研修会を兼ねて開催した。)

日 時	内 容	講 師	受講数
3月17日	(講義) スポーツ栄養と運動	管理栄養士、公認スポーツ栄養士、健康運動指導士 五十嵐 小百合氏	指導者 23人 医師 23人 (午後のみ)
	(実技) 脳科学に基づいた運動効率が良くなる体幹トレーニング	日本コアコンディショニング協会認定アドバンストレーナー 前坂 宣明氏	
	(講義) アンチ・ドーピングについて	日本臨床スポーツ医学会 理事長 川原 貴氏	

オ 実践指導事業

(ア) コース事業

利用目的に応じて健康づくりプログラムを提供した。

a 生活習慣病予防コース

健康増進や生活習慣病の予防・改善を目的に、個人に適した栄養・運動・休養プログラム等の健康づくり処方を提供し、本格的な健康づくりに取り組んでもらった。

(参加者数)

(単位：人)

コース名	平成29年度(A)	平成28年度(B)	比較増減(A-B)
6ヵ月充実コース	10	14	△4

b 健康保持コース

健康・体力の保持増進を目的に、日常生活問診や体力測定の結果に基づき個人にあった健康づくり処方を提供し実践指導を行った。

(参加者数)

(単位：人)

コース名	平成29年度(A)	平成28年度(B)	比較増減(A-B)
健康づくり通信指導コース	0	1	△1
体力測定コース	222	425	△203

c 子ども(親子)のコース(子どもの健康づくりコース)

親子で参加してもらい、運動や栄養などについての知識を深めるとともに、実技にも取り組んでもらった。参加者数(延) 12人 (28年度20人)

d 高齢者向けコース（いきいきコース）

65 歳以上の高齢者を対象に、生活体力測定を行い、その結果に基づいたプログラムを提供し実践してもらった。

817 人 （28 年度 962 人）

e セルフコース

健康スタジアムを継続利用しやすいように利用する時間帯に応じて各コースを設けて健康の維持・増進に取り組んでもらった。

（利用者数）

（単位：人）

区分	利用形態	期間	利用申込者数	延利用者数
平日デイ	月～金（祝日を含み、休館日を除く）の 10:00～17:00 利用	1 ヶ月	1,721	21,914
		3 ヶ月	257	3,021
		6 ヶ月	279	3,383
平日プラス A	月～金（祝日を含み、休館日を除く）のフルタイムと土日祝日の 17:00 以降利用	1 ヶ月	247	4,117
		3 ヶ月	40	634
		6 ヶ月	62	1,090
平日プラス B	月～金（祝日を含み、休館日を除く）のフルタイムと土日祝日の 10:00～12:30 利用	1 ヶ月	158	3,025
		3 ヶ月	28	380
		6 ヶ月	81	1,265
休日プラス	平日 17:00 以降と土日祝日のフルタイム利用	1 ヶ月	2,577	35,515
		3 ヶ月	287	3,528
		6 ヶ月	422	6,276
フリー	全営業日のフルタイム利用	1 ヶ月	790	16,256
		3 ヶ月	113	1,951
		6 ヶ月	393	7,606
計			7,455	109,961

f 健康測定（ワンコイン健康チェック）

健康スタジアム内利用者の希望に応じて、手軽な料金で測定できるワンコイン健康測定を実施した。

（利用者数）

（単位：人）

コース名	平成 29 年度 (A)	平成 28 年度 (B)	比較増減 (A-B)
骨密度チェック	397	453	△56
食事バランスチェック	0	0	
ストレス度チェック	0	1	△1
ゆらぎ測定	0	0	

(イ) 指導・監視等業務

トレーニング・プール・バーディゾーンの利用安全確保の観点から各エリアに職員を配置し、指導・監視業務を実施した。

a 自由参加プログラム

トレーニング・プールエリアで、利用者の利用形態に応じた内容を工夫し、自由に参加できるプログラムを実施した。

延参加人数 78,382 人 (28年度 延参加人数 79,440 人)

(ウ) ちびっ子室(託児室)の運営

健康スタジアム内にあるちびっ子室(託児室)に保育士を常時配置し、子育て中の利用者にも安心して健康スタジアムを利用してもらえるよう託児を行った。

子どもの延利用者数 1,337 人 (28年度 延 1,407 人)

(エ)健康相談

健康プラザの利用者には疑問点等について気軽に相談してもらい、より安全に健康づくりに取り組んでもらうため、健康スタジアムにおいて医師や保健師、看護師、栄養士、健康運動指導士等による健康相談に応じた。

相談件数 146 件 (28年度 180 件)

(オ) 医療費控除の証明

健康プラザは厚生労働省の「温泉利用型健康増進施設」及び「指定運動療法施設」の指定を受けており、医師の処方に基づき健康状態の改善を目的に健康スタジアムを利用した場合に所得税の医療費控除の対象となることから、該当者に対し証明書の発行を行った。

発行件数 15 人 (28年度 24 人)

(3) 屋外健康づくり施設の管理

6haを超える屋外健康づくり施設を無料で開放し、緑あふれる環境の中で楽しく健康づくりができるよう、施設の維持管理に努めた。

平成29年度の利用者数は38,480人(28年度38,580人)であった。このうち、パークゴルフ場の利用者数は24,340人(28年度21,990人)であった。

<主な施設> パークゴルフ場、健康遊歩道、トリムコース、アドベンチャーフィールドフィールドアスレックス、じゃぶじゃぶ池、薬木の径、ハーブ園、薬草園、イベント広場

(4) 利用促進の方策

ア 市町村と連携した利用促進

健康プラザから比較的遠く、利用の少ない市町村の人たちに、施設をできるだけ利用してもらうため、「市町村の日」を設け利用の促進に努めた。

- ・個人・団体の料金の半額利用、いきいきコース料金等の補助やバスで送迎を行う。
- ・宿泊体験型健康づくり事業参加者の料金割引をする。
- ・市町村の日：利用者数：6市町村 506人 (28年度 7市町村 443人)

イ健康福祉バスの運営

健康プラザ所有の健康福祉バス(定員38人)等を活用して、市町村が実施する高齢者の健康づくり事業や児童クラブ、地域団体の送迎を行い、健康スタジアム利用拡大に努めた。

利用団体数 72 団体 (28年度 84 団体)

利用者数 1,771 人 (28年度 2,068 人)

#### ウ PR事業やイベントの実施

健康プラザを広く県民に知ってもらい、楽しく利用してもらうため、健康に関する各種イベントを開催した。

(ア)「市町村の日」いきいきコース参加者の1回利用料を半額

(イ)「敬老の日イベント」60歳以上の利用者とその家族を半額補助

(ウ)「年末年始イベント」運動教室やもちつき大会の開催等

(5)利用者への対応

#### ア 公募型利用者モニター会議の開催

健康プラザの運営改善を図るため、健康スタジアム利用者の中からモニターを公募して、利用者モニター会議を開催し、利用者の意見の反映に努めた。

モニター登録：9名、モニター会議の開催回数：年2回（9月、3月）

（28年度モニター登録：8人　モニター会議開催数：年2回）

#### イ ご意見・ご提案箱の設置

館内に「お客様の声・回収箱」を設置し、利用者の要望や苦情等を提出してもらい、改善の必要があるところについては、早急に改善措置を講じた。

(6) 地域等との連携

#### ア 地元等の連携

富山県国際健康プラザ協議会を開催し、周辺地域住民との連携を密にし、施設の円滑な運営を図るため、地元関係者と協議した。

開催回数：年2回　参加者数 30人　（28年度 開催回数：年2回、参加者数 30人）

#### イ 健診機関との連携

関連施設である富山県健康増進センターでのドック健診や集団検診利用者を対象に、健康プラザの割引制度を実施した。

利用数 1,664人　（28年度 1,412人）

#### ウ イタイイタイ病資料館との連携

イタイイタイ病資料館と連携して、資料館の見学と健康プラザ体験をセットにしたコースを小・中学生、町内会等の団体を対象に実施し、健康への啓発普及を図った。

参加者数 295人（28年度 149人）

#### エ とやま健康パーク友の会との連携

健康プラザ利用者のための会員組織「とやま健康パーク友の会」を運営し、健康プラザの利用女性や健康づくりイベントの開催等、健康プラザ利用促進のための様々な事業を実施した。

会員数 個人会員 286人、団体会員 79団体

（28年度会員数 個人会員 286人、団体会員 80団体）



## 2 自主事業

### (1) 介護予防指導者養成研修会

富山県内の地域包括支援センター職員を対象に、介護予防に役立つ運動機能向上に関する知識習得と技術スキルの向上を図るため「富山県介護予防指導者養成研修会」及び「富山県介護予防指導者実務（フォローアップ）研修会」を開催した。

- ・富山県介護予防指導者養成研修会

開催回数 2 回 参加者数 12 人 (28 年度開催回数 2 回 参加者数 24 人)

- ・富山県介護予防指導者実務（フォローアップ）研修会

開催回数 2 回 参加者数 7 人 (28 年度開催回数 2 回 参加者数 9 人)

### (2) 県等委託事業の受託

県職員や警察職員、企業従業員等のための健康づくり事業の依頼を受け、健康的な生活を確立するための運動習慣づくりを目的とした研修、体力測定、運動の実践等を実施した。

団体名	事業名称等	回数	参加数
富山県	ヘルスアップスポーツセミナー	8 回	56 人
	職員 PA	3 回	74 人
富山県警察共催組合	糖尿病セミナー	4 回	65 人
	若手職員のための「心と体のヘルスアップセミナー」	4 回	42 人
	採用 10 周年「心と体のヘルスアップセミナー」	3 回	60 人
	健康づくり教室における講師派遣業務	2 回	50 人
教職員厚生会	ヘルスアップセミナー	7 回	92 人
富山第一銀行健康保険組合	チャレンジコース		42 人
黒部市(国保)	健康パーク健康づくり事業	5 回	111 人
特定保健指導事業 (富山県地共済、富山市国保、富山県医師会共済、富山第一銀行健康保険組合)	動機づけ支援コース		38 人
	積極的支援コース		32 人

### (3) 健康づくり講師等の派遣事業

健康プラザ職員(健康運動指導士・保健師・栄養士)が、県内市町・企業・地域団体等の要望に応じて施設内及び各地へ出向き、健康づくりの啓発普及に努めた。

年 40 回 (28 年度 年 37 回)

### (4) 教室事業

健康づくりを各方面から支援するため、運動系・文化系の様々な教室を開催した。教室の講師は公募方式とし、健康プラザが会場を提供し、意欲のある人が誰でも自由な発想で健康づくり事業や文化事業を主催できる、県民参加型の事業として実施した。

区分	教室名	開催時期	延参加者数
運動系	カターレダンス	通年	700 人

(6) 特別有料プログラムの実施

更なるレベルアップを図りたい継続利用者の要望を考慮しやすい運動強度の強いプログラムを有料で実施した。

延参加人数 1,316人 (28年度 1,217人)

(7) ヘルスプロモーションダイビング事業

県民の健康づくりの拠点施設としての健康プラザの機能やノウハウを発揮し、運動・栄養・休養の支援といった観点から、啓発面及び実践面から平成30年度までのアクションプログラムとして総合的、集中的に取り組む事業を実施した。

ア 啓発事業

(ア)健康フェスティバル事業

健康づくりへの機運醸成のため、イベントを開催した。

○開催日 平成29年11月18日(土)

○開催場所 ファボーレ 太陽の広場

○内容 健康測定、展示、イベント(ステージ出し物)

○参加者 450人

(イ)健康づくり相談・支援事業

健康プラザの利用者には疑問点等について気軽に相談してもらい、健康スタジアム内で、医師や保健師、看護師、栄養士、健康運動指導士による健康相談を実施した。

○相談件数 146件(再掲)

(ウ)健康づくり講師派遣事業

健康プラザの職員(健康運動指導士・保健師・栄養士)が、県内市町・関係団体等の依頼により施設利用時に併せ、健康づくりについて講義・指導を実施し、啓発普及に努めた。

○40回(再掲)

イ 実践事業

(ア)宿泊体験型健康づくり事業

特定保健指導対象者及び糖尿病予備軍等を対象に、運動・栄養の実践を取り入れた宿泊体験事業を県内3か所で開催した。

○開催地 富山市-とやま自遊館、南砺市-桜ヶ池クアガーデン、立山町-立山国際ホテル

○参加者 23人

(イ)いきいきウォーキング事業

健康づくりの最初の一步として活用してもらうため、歩行、ストックウォーク等の体験講座を毎月開催した。

○回数7回 延参加者95人

(ウ) リラックス体験・推進事業

健康づくりの休養を中心に休息や休養方法、リラックス法を提供・体験してもらう事業を開催した。

○回数 5回 延参加者 157人

## 第2 イタイイタイ病資料館事業

### 1 イタイイタイ病資料館（指定管理事業）

イタイイタイ病に関する貴重な資料や教訓を後世に継承するため、県が企画立案を行い決定した事業内容に基づき、県と十分連携を図りながら事業を実施した。

#### (1) 資料継承事業に関する業務

県の指示に基づき、収集資料の保存管理、新規収集資料の分類、収集資料のデータベースの更新を行った。

##### ア 収集資料の保存管理業務

収集資料を適正な管理下で保存保管し、資料室（収蔵庫）、図書閲覧室（視聴覚室）及び収集資料の定期的な点検確認を行った。

##### イ 新規収集資料の分類業務

県で計画的に収集する資料について、県で定める方法により、適正に分類、整理した。

##### ウ 収集資料のデータベースの更新業務

県で新たに収集した関係資料の基本情報を県が整備したデータベースに入力した。

また、県の指示に基づき、収蔵資料を調査し、既に県で入力済の各データの加除修正を行った。

#### (2) 教育啓発事業に関する業務

##### ア 展示ガイドの増刷業務

県が提供する版下により、展示ガイドを増刷（日本語を4,000部）した。

##### イ 団体利用者の予約受付及び団体受入れ時の対応協力業務

県と調整して団体利用者の予約受付、受入れ準備、誘導、語り部講師や展示解説の補助を行った。

##### ウ 小中学校等に対する学習支援業務

小学校等における学習支援の一環として、授業で活用できる副読本を配布した。

県内 224 箇所                      10,108 部

##### エ 研修イベント事業に関する業務

県が企画立案し実施したイベント事業の準備や実施の補助を行った。

##### (ア) 子供向けイベント

イタイイタイ病を学ぶバスツアー

開催日： 8月4日                      場所：神岡鉱山

参加人数 親子11組23人                      (28年度 参加人数 親子14組30人)

夏休み自由研究講座

開催日： 7月28日～29日                      場所：資料館

参加人数 63人                      (28年度 参加人数 58人)

(イ) 教員向け研修イベント

開催日：8月17日 場所：資料館  
参加人数 27人 (28年度 参加人員 28人)

(ウ) 一般向け研修イベント

a 春の特別企画展

・「イタイイタイ病講座」

開催日：4月29日 場所：第一研修室 参加人数 30人

・「語り部リレー講話」

開催日：4月30日～5月7日 場所：第一研修室 参加人数 180人

b 四大公害病の語り部講話を聴く集い

開催日：10月7日 場所：交流学習ルーム 参加人員 50人

c 読み聞かせと書籍の紹介・解説の集い

開催日：11月3日 場所：資料閲覧室 参加人員 30人

d イタイイタイ病資料館講演会

開催日：11月23日 場所：資料閲覧室 参加人員 70人

e イタイイタイ病を考える県民フォーラム

開催日：2月18日 場所：資料館 参加人数 120人

オ サテライト啓発業務

イタイイタイ病への関心を広げていくため、県内の公的施設等においてイタイイタイ病に関する映像放映やパネル展示を行った。

開催数 9箇所

(富山市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、上市町つるぎふれあい館、立山町、入善町、朝日町)

(28年度 9箇所)

富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、北陸銀行富山南支店)

カ 国際健康プラザとの連携事業の実施業務

国際健康プラザで実施している「市町村の日」や講師派遣事業等においてイタイイタイ病資料館の普及活動を行った。

(ア) 資料館の見学と国際健康プラザ利用をセットとしたコースの実施

資料館の見学と国際健康プラザ利用（健康スタジアム内での健康づくり体験等）をセットとしたコースを実施した。

実施回数6回 人数295人 (28年度 実施回数6回 人数149人)

(イ) 健康講話・健康医学講演会の開催

国際健康プラザにおいて、一般県民を対象に開催している健康医学講演会で、環境

と健康に関する内容をテーマとして取りあげた。

開催日 6月29日 人数 41人 (28年度 開催日 8月30日 人数 24人)

(ウ) 市町村の日の活用

国際健康プラザにおいて、市町村と連携して実施している「市町村の日」事業で、パンフレットの配布を行った。

(エ) 市町村等各種団体への訪問による普及活動

国際健康プラザにおいて実施している市町村や各種団体への健康づくり講師派遣事業で、資料館の説明や利用案内、パンフレット等を配布し、普及活動を行った。

キ その他資料館の利用促進業務

国際健康プラザを利用する団体や健康パーク友の会を対象に説明、利用案内やパンフレットの配布を実施した。

県からの委託を受け、県内の学校がイタイイタイ病資料館を見学する場合に無料送迎バスを提供した。また、プラザが所有する健康福祉バスを利用しての無料送迎も行った。

実施回数 71団体 人数 4,310人 (28年度 実施回数 86団体 人数 4,784)

(3) 情報発信業務に関する業務

ア みんなの声コーナーのモニター表示管理業務

感想等を表示する「ふり返り展示システム」にイタイイタイ病資料館に寄せられた感想等を確認し、県と調整し表示するものを選定しシステムに登録した。

投稿数 353件 登録件数 124件 (28年度 投稿数 310件 登録件数 58件)

イ ホームページの更新業務

県が開設したホームページの掲載情報等(情報の企画立案、内容変更は県が行う)の管理運営を行い、定期的に更新を行った。 アクセス回数 121,260件

ウ メールマガジンによる情報提供事業

県と調整して、メールマガジンの掲載情報を作成し、登録者へ定期的に配信した。

エ 研修イベントなどのチラシ・ポスター作成等業務

資料館で研修イベント等を実施するにあたり、県で決定した内容をふまえ、ポスター等を作成し効果的にPRできるよう適切に配付、掲示を行った。

### 第3 健康増進センター事業

#### 1 健康診断事業

##### (1) 施設内健診事業

健診者総数は20,549人で、前年度に比べ48人(0.2%)増加した。コース別では、総合健診コースは42人(△0.8%)、定期健診は35人(△0.6%)、保険診療は82人(△9.1%)の減少となったが、協会けんぽコースは207人(2.4%)の増加となった。

<平成29年度 健診実施状況>

(単位：人)

区 分	平成29年度(A) (健診日数：248日)		平成28年度(B) (健診日数：248日)		比較増減(A-B) (健診日数：0日)	
	年間健診 人 数	1日当り 人 数	年間健診 人 数	1日当り 人 数	年間健診 人 数	増減率 (%)
総合健診コース	5,196	21.0	5,238	21.1	△42	△0.8
協会けんぽコース	8,779	35.4	8,572	34.6	207	2.4
小 計	13,975	56.4	13,810	55.7	165	1.2
定 期 健 診	5,750	23.2	5,785	23.3	△35	△0.6
保 険 診 療	824	3.3	906	3.7	△82	△9.1
合 計	20,549	82.9	20,501	82.7	48	0.2

##### (2) 集団検診事業

検診者総数は263,548人で、前年度に比べ2,153人(0.8%)の増加となった。

検診別では、検診車稼働台数の減などにより、胃がん検診で3,634人(△12.9%)、子宮検診で1,999人(△4.3%)、乳がん検診で1,878人(△6.7%)などそれぞれ減少したが、胸部検診(肺がん検診と結核検診)で9,189人(18.1%)、循環器検診で1,612人(1.9%)、特定保健指導で15人(2.1%)などそれぞれ増加した。

<平成29年度 各部門別検診実施状況>

(単位：人、台)

区 分	平成29年度(A)		平成28年度(B)		比較増減(A-B)	
	年間検診 人 数	検 診 車 稼働台数	年間検診 人 数	検 診 車 稼働台数	年間検診 人 数	増減率 (%)
胃 がん 検 診	24,430	909	28,064	974	△3,634	△12.9
子 宮 がん 検 診	44,972	489	46,971	495	△1,999	△4.3
乳 がん 検 診	26,077	494	27,955	504	△1,878	△6.7
肺 がん 検 診	40,914	—	15,822	—	25,092	158.6
大 腸 がん 検 診	19,108	—	20,289	—	△1,181	△5.8
循 環 器 検 診	87,235	—	85,623	—	1,612	1.9
特 定 保 健 指 導	729	—	714	—	15	2.1
結 核 検 診	19,182	630	35,085	544	△15,903	△45.3
骨 粗 鬆 症 検 診	901	26	872	23	29	3.3
合 計	263,548		261,395		2,153	0.8

注：高山市等岐阜県内の検診人員、検診車台数については別途記載。

## 2 がん対策普及調査事業

### (1) 普及啓発事業

#### ① がん征圧月間運動の実施

9月のがん征圧月間に、がん予防に関する正しい知識の普及と早期発見、早期治療の大切さを訴えるため、パンフレットやポスターの配布、懸垂幕の掲示等により、検診勧奨の普及を図った。

・実施期間 平成29年9月1日（金）から30日（土）まで

#### ② 日本対がん協会維持会員の募集

がん征圧運動を実施するため、県、市町村、医師会、事業所等の協力を得て、日本対がん協会維持会員の募集と募金を行った。

・個人維持会員数 90人 募金額 231,000円 (28年度 135人 : 277,000円)

・法人維持会員数 30人 募金額 360,000円 (28年度 31人 : 360,000円)

・募金総額 591,000円 (28年度 637,000円)

#### ③ 講演会

市町村や事業所等の要望に応じて職員を派遣し、がんや生活習慣病予防に関する講演を行った。

・講演回数 年間14回実施 (28年度 年間9回)

#### ④ 視聴覚教材の貸出し

健康づくりに関する視聴覚教材を市町村、事業所、学校等へ貸し出し、疾病予防や健康づくりの啓発を行った。

##### 貸出実績

区分	29年度	28年度
ビデオ	0件	0件
模型	15件	52件
パネル	82件	79件
合計	97件	131件

### (2) がん基金事業

富山県がん対策基金の運用益により、街頭キャンペーン等がん予防に関する普及啓発を行うとともに、がん予防技術者の研修助成を行った。

#### ① がん征圧月間（9月）におけるキャンペーン

##### ア がん予防展示コーナーの設置

・平成29年4月から11月まで 国際健康プラザ

##### イ 新聞広告による普及啓発の実施

・9月1日（金）朝刊 3紙 約35万部発行（クイズ形式で掲載）



② 世界禁煙デー（5月31日）のキャンペーン

「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の期間中、検診車14台に大版シール（標語）を貼り、視覚に訴える啓蒙普及を検診活動とともに展開した。

・実施日 平成29年5月24日（水）から6月6日（火）まで

③ 富山県がん検診普及啓発キャンペーンの実施

・10月28日（土） 富山国際会議場で出展

・11月4日（土）、5日（日） 富山産業展示館で出展

・10月 ピンクライトアップ 富岩運河環水公園や県庁前噴水公園など3ヶ所

④ 講演会・報告会の開催

市町村や事業所の保健師・衛生管理者等を対象に、平成29年度健康増進センター検診実績の報告会と併せてがん検診普及啓発のための講演会を開催した。

⑤ 研修会等派遣の助成

がん検診に従事する医療技術者の研修会等派遣の助成を行い、検診や読影技術等の向上を図った。

（助成人員 5名 （28年度：3名））

3 複十字シール募金事業

(1) 複十字シール運動の実施

結核予防運動を推進するため、県、市町村、婦人会等各種団体の協力を得て複十字シール募金活動を行った。（募金総額 1,822,589円 （28年度：2,283,596円））

(2) 結核予防週間の普及啓発活動

結核予防週間を中心として、ラジオスポット放送・懸垂幕の掲示やポスターの配布等を行い、富山県結核予防婦人会（富山県婦人会）の協力を得て全国統一の街頭キャンペーンを実施し、結核に対する関心と予防思想の普及啓発に努めた。

・ラジオ放送及びポスターの掲示

実施期間 平成29年9月1日（金）から30日（土）まで

・街頭キャンペーンの実施

実施日及び場所 平成29年9月23日（土）富山市・グランドプラザ周辺

・懸垂幕の掲示

実施期間及び場所 平成29年9月1日（金）から30日（土）富山市役所広告塔

4 高山市等岐阜県内の集団検診事業

検診者総数は、13,955人で、前年度に比べ132人（0.9%）の減少となった。

検診別では、子宮がん検診で124人（△1.9%）、乳がん検診で63人（△1.0%）減少し、骨粗鬆症検診で55人（7.2%）増加した。

<平成 29 年度 高山市等検診実施状況>

(単位：人、台)

区 分	平成 29 年度 (A)		平成 28 年度 (B)		比較増減 (A-B)	
	年間検診 人 数	検 診 車 稼動台数	年間検診 人 数	検 診 車 稼動台数	年間検診 人 数	増減率 (%)
子宮がん検診	6,578	109	6,702	107	△124	△1.9
乳がん検診	6,554	109	6,617	107	△63	△1.0
骨粗鬆症検診	823	20	768	20	55	7.2
合 計	13,955		14,087	—	△132	△0.9